

令和6年度 信学会長野幼稚園 「自己評価および園関係者評価」

1. 園の教育目標

「夢中に遊び 友だちいっぱい わくわく TRY」

(とことん遊ぶ子 考えて表現する子 多様な人とつながる子)

2. 本年度の重点目標

- ・主体的に行動できる子どもの育成 — 感じ、考え、判断し、行動する子
遊びや体験、生活を通して主体性を育む つながりやを育む 丈夫な心と体を育む 裸足教育の推進
- ・基本的生活習慣 体を使って遊ぶ。挨拶ができる。整頓ができる。

3. 自己評価

A…十分達成されている

B…達成されている

C…取り組んでいるが、成果が十分でない D…取り組みが不十分である

項目	自己評価内容	評価
教育課程・指導	・園は目指している教育目標、本年度の重点目標を周知している。	B
	・教育課程実施において、教職員は共通理解をしている。	B
保健管理	・日常の健康観察や、疾病予防のための取り組みや健康診断などを行っている。	B
安全管理	・事故やケガ等発生時の危機管理マニュアルが整備されている。	B
組織運営	・園長は教育目標の達成に向けリーダーシップを発揮し、職員をリードしている。	A
	・園運営が適切に機能するために、運営・責任体制の整備を行っている。	B
研修（資質向上への取組）	・法人実施の研修会への参加と、園内研修会の実施をしている。	A
	・日々の保育の振り返りと課題を明確にしている。	B
教育目標・園評価	・幼児の実態、保護者の意見要望などを踏まえた園目標を設定している。	A
	・保護者アンケートの実施と、学校関係者委員会（モニター会）を設置している。	A
	・本年度の重点目標達成のための取り組みをしている。	A
情報提供	・園公開を実施し、園の取り組みを広く情報提供している。	B
	・園の情報を広く公開するために、ホームページ等を活用している。	A
保護者・地域住民との連携	・PTA や学校関係者委員会（モニター会）等で定期的に懇談会を実施している。	A
子育て支援・預かり保育	・地域における保護者の実情や、子育て支援ニーズを把握している。	B
	・保護者の実情や要望を取り入れ、預かり保育・希望保育事業を実施している。	A
教育整備環境	・子どもの成長に則した教育環境になるよう工夫を重ねている。	A

4. 学校関係者評価委員(モニター)からの評価

- ・保護者負担軽減に向けてPTA活動をいろいろ縮小してきたようで、働く保護者が多く一定の理解が得られたのではないかと思います。
- ・子どもの主体性をはぐくむことで子どものパワーを感じる。一方でクラスごと違う活動内容となるので、他のクラスをうらやましく思う子どももいるようだ。もう少し活動の経緯や、何を先生がねらったのか、どのようにかかわっているかを伝えていくと良い。
- ・身近に事件などもあるので、先生方だけでなく、保護者・地域でも協力できることがあればやっていきたい。
- ・広い園庭なので、子どもたちが遊んでいるのを先生たちがみきれていないのではないかと。柵のところから落ちたら大変になってしまう。
- ・子どもたちに、地元を誇りをもって地元に残ってもらえるようになってもらえると良い。例えば湯谷小のマーチングバンドがイオン等で発表してくれているなど地元との交流を続けてほしい。

5. 今年度の総合的な園評価と次年度への課題

- ・主体的な学びに向けて非認知能力の育成を大事にして、環境設定や職員研修に取り組んできている。これからも、子どもたちの主体的な学びになるようにしていく。
- ・来年度から音楽会を園独自で実施することになった。これを機会に子どもの日常生活の延長としての行事の在り方、時期を検討していく。
- ・子どもたちが安心して登園できるように、人的・物的環境を整えてきているが、更に危機管理意識を向上させていく。